

公表

保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ライフエナジーチエチエコリ		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 5日		～ 令和 8年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 5日		～ 令和 8年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○訪問先施設評価実施期間	令和 8年 1月 5日		～ 令和 8年 2月 14日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援の経験が豊富な職員がいる。	訪問時の児童の様子や支援の内容を皆で情報共有する事で保育所等訪問支援の仕方を職員が学ぶ機会を持つ事が出来ている。	経験豊富な職員指導のもとで経験を積ませ人材育成を行う。保育所等訪問支援の希望者が増えても対応が出来るようにする。保育所等訪問の研修等に積極的に参加し、支援の幅を広げていく。
2	多職種な職員が集まっており、事業所内で専門的な意見を聞くことが出来る。	訪問前後にて情報共有を行い、皆で意見を交わす場を持つ事が出来ている。	色んな職種の職員が保育所等訪問の現場に行く事で、多方向から環境設定や助言等を行えるようにしていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援の利用者が少ない。	保育所等訪問支援自体の知名度・理解が低い。	保育所等訪問支援に該当しそうな児童に関して、契約や説明の際に支援内容の説明や案内を提示する。また、連携している園や保育所に対して担当者会議等で保育所等訪問支援を行っている事をアピールする。
2	訪問先の意向や方針に沿った適切な支援が難しい。	訪問先側で、訪問支援に対する理解が十分に得られていない事や抵抗があるように感じる。	訪問先の担当者・関係者との連携を密にし、普段から信頼関係を築いていく。計画書を共有し、支援目標を明確にはしているが取り組み方に相違が出てしまう事が多いため、現場で出来る支援方法について支援者側が学んでいく必要がある。
3			